J-WING
日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 269（16－07）
2025年 1月 31 日
Tel:03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

25 春闘「全社員アンケート」集計結果②

春闘では手当も大幅改善を

今年 1 月に実施した「25 春闘全社員アンケート（261 件）」の集計結果の報告その②です。

■ 諸要求ついて （回答全体の集計結果）

諸要求は例年同じ質問方式で聞いています。世間的に賃上げが求められているためベースアップは継続し、一時金も年度で見れば改善方向で考えられています。一方で手当に関しては、昨年春に非破壊検査手当が設定され、国内出張パーディアムが 600 円増加しましたが、夏と年末の有額回答はありませんでした。従ってこの項目は実現していない要求が並ぶため毎回同じ傾向になります。細かく見ると AFRS 手当が昨年よりも増えて 5 番目になりました。羽田でも支店でも AFRS 資格を行使する人が増えていて、負担が大きくなっているため、これまで以上に手当の改善が求められています。

1．諸手当

諸手当	2025			諸手当	2024	
	回答数	全体比率	記述内比率		回答数	全体比率
土日祝手当	85	32.6%	35.7%	土日祝手当	57	23.8%
確認主任者手当	60	23.0%	25.2%	確認主任者手当	46	19.2%
マイカー通勤高速代	28	10.7%	11.8%	マイカー通勤高速代	29	11.8%
暖房手当	27	10.3%	11.3%	暖房手当	22	9.0%
AFRS手当	19	7.3%	8.0%	シフト手当	20	8.2%
家族手当	18	6.9%	7.6%	家族手当	18	7.3%
シフト手当	17	6.5%	7.1%	住宅手当	18	7.3%
屋外作業手当	10	3.8%	4.2%	単身赴任手当	10	4.1%
住宅手当	9	3.4%	3.8%	AFRS手当	8	3.3%
単身赴任手当	6	2.3%	2.5%	深夜手当	5	2.0%
深夜手当	5	1.9%	2.1%	全手当	5	2.0%
全手当	4	1.5%	1.7%	その他諸手当要求：屋外作業手当、NDI手当、BSI手当、教官手当、スカイライナー手当、教官手当、一整手当、工整手当		
その他諸手当要求：残業手当、運航管理者手当、車の購入補助改善、離島調整手当増、ラバトリー手当、トレード検査手当、早朝手当、マイカー通勤者の任意保険補助、呼出手当増			手当回答数に占める比率			
記述総数	238	91.2%	100.0%	記述総数	211	86.1%

確認主任者手当増額の交渉のなかで、2 機種目以降減額の理由が1機種目を取得するときのインセンティブが考慮されているという説明なので、今回からは一整取得時の資格取得手当を要求します。また、マイカー通勤の高速代についても、同じ回答が続いているので、通勤手当支給細則全般の見直しを求め、高速代も含めて通勤の総合改善を図ります。暖房手当、屋外作業手当の交渉も平行線が続いています。また、国内転勤が滞っている支店もあるので転勤・単身赴任の制度改善も引き続き求めていきます。

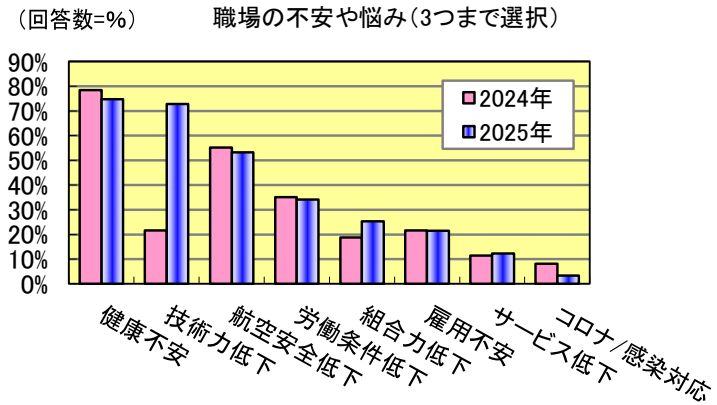
諸制度では今年も ST 制度の改善が 1 番目になりました。ST00 の増点や子どもの年齢制限撤廃、別居特任 ST の改善などを求めます。定年延長の要望や「定年を選択制にして 65 歳までに」という意見もありましたが、「早くやめたい」という声や早期退職制度を求める回答もあるため、「定年延長の計画を早急に示すこと」という要求は降ろしています。会社からも「再雇用制度を充実させて定年は選択制の方がいいでしょう？」と言われています。65 歳以降の特別スペシャリストの一時金については JALEC への要求に追加しました。その他少数意見ですが、テレワーク DAY や資格取得休暇なども必要な制度でしょう。

2．諸制度（勤務や福利厚生等）

諸制度	2025			諸制度	2024	
	回答数	全体比率	記述内比率		回答数	全体比率
ST制度	15	5.7%	6.3%	ST制度	14	5.4%
転勤制度	4	1.5%	1.7%	再雇用制度・定年延長	7	2.7%
出張の移動時間を勤務に	4	1.5%	1.7%	時短	6	2.3%
休日増	4	1.5%	1.7%	転勤制度	5	1.9%
再雇用制度・定年延長	3	1.1%	1.3%	出張の移動時間を勤務に	3	1.1%
時短	3	1.1%	1.3%	休日増	2	0.8%
単身赴任制度	3	1.1%	1.3%	介護制度の拡充	2	0.8%
その他諸制度要求：テレワークDAYの新設、首都圏宣言見直し、資格取得休暇、高齢化対策、早期退職制度、現役世代の短縮勤務				暑さ対策	2	0.8%
			諸要求回答数に占める比率	その他諸制度要求：職場環境改善、26時終業S勤の廃止、夏休、首都圏宣言見直し、資格取得休暇、社宅寮費減、2シフトにも2方式通勤を		
記述総数	238	91.2%	100.0%	記述総数	211	86.1%

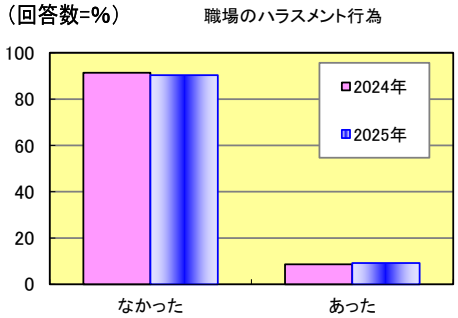
■ 現在抱えている悩みや不安について

◆現在抱えている不安や悩みについて、3 つ選ぶ設問では、常に多い「技術力低下」が急増しています。重整備の機会が減ってスキルが低下していることを労協でも指摘しましたが、他の理由も深掘りして、交渉で伝えていく必要があります。



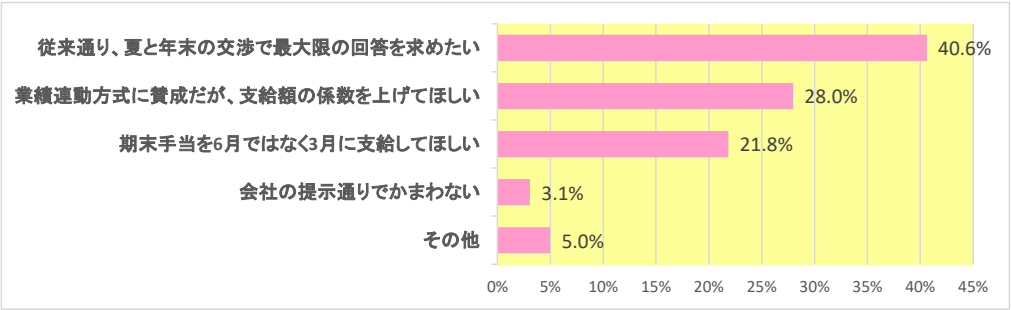
■ あなたの周りでハラスメント行為はありましたか？

◆ 昨年からハラスメントについて調査を行っています。今年の調査では、「あった」と答えた人は昨年の 21 件(8.6%)から 25 件(9.6%)に増加しましたが、全体的な傾向は変わっていません。ハラスメントの受け止め方には個人差がありますが、上司によるハラスメントが存在することは示唆されています。



■ 一時金について、会社の提示条件に対する考えは？

◆ アンケートでは既に提示されている年間一時金について尋ねています。組合大会で「業績リンクを認めず～」という方針が承認されているので、夏と年末で最大限を求め、提示されているスキームを修正するように訴えていきます。



■ 会社や組合にひとこと

- 物価が上がり過ぎて、今までと同じような生活ができなくなっている。
- シニアがいないと成り立たない職場は異常です。
- 円の価値下落、物価高騰の時代に、会社は労働者の価値を30年前と同じとみている。そんな会社にだれが入りたいと思うか。転職が容易になった今、長きにわたってスキルを維持向上させる現場作業者を大事にしなかったら事業が立ち行かなくなる。
- 事故やミスワークが減る感じがしません。
- 人材不足の時代になった今、人に投資して会社を存続させないと未来はありません。
- 多少でも良いので、ゆとりのある職場環境・ゆとりのある家庭生活の中で過ごしたいです。
- 心の病で休む人が多くなっています。もっと社員を大切にしてほしい。
- 離島では物価高騰プラス輸送原油費高騰で物価が高くなっている。
- AFRSのせいで体調不良が続いている。まともなバックアップやアシストも付かず各社バラバラの規定、LOG処理を限られた時間内にほぼ１人で行わなければならず、ストレスで精神的に参っている。
- ベースが4ヶ月なんて低い数字で納得いかない最低でも夏、冬3ヶ月ずつで別途期末ならまだ納得出来る。
- 変わらない労働環境で頑張っている社員にもっと一時金を出すべき。
- 人材不足がどこの職種、職場でも進んでいる。まともに仕事が回らない状況が近づいている。
- 支店を含めてとにかく外航受託をやめろ。無理やり受け続けているので代理店の人間が職場の繁忙に嫌気がさしてやめていく。最近DXを推しているけど経営施策をAIにやらせてみては？
- 仕事の内容と賃金が合ってない、低すぎる。
- 人財の確保を今以上に行う必要があると思います。人員不足を理由に色々な施策を行なっているが、やはり人員増に勝るものはありません。入社希望者が増えるよう、魅力ある会社にして行かないといけないと思います。時間は待ってくれません、バブル入社の社員が退職時期を迎える前に！
- JALECでは意見が通りませんのでがんばって下さい。

※以上は抜粋。WEBの組合員専用ページで全部読めます。

【J-WING269（16-07）号　2025,01,31】